

## 第 14 回高槻・山崎（大阪府域）出張所管内 河川レンジャー運営会議

### 議事概要

日時：平成24年2月17日（金） 14：10～16：55

場所：淀川管内河川レンジャー中央流域センター

出席者：委員15名、事務局10名

#### 1. 決定事項

- ・酒井河川レンジャーの2回目の再任が決定した。
- ・高槻・山崎出張所管内全河川レンジャーの平成24年度年間活動計画が決定した。
- ・平成24年度新規河川レンジャー展開計画について決定した。推薦人数は高槻出張所1名、山崎出張所1名の計2名である。
- ・谷岡河川レンジャーが運営会議代表河川レンジャーとして再選された。

#### 2. 意見等（・意見、→直前の意見に関連した議論）

##### ■代表者会議における議論および報告について

- ・淀川における様々な課題を事務所と一緒に整理する機会がほしい。  
→実務研修等を来年度も積極的に行いたいと考えている。実行委員会でよりよい研修となるよう、内容や場のあり方などを整理したい（事務局）。
- ・活動への参加者が固定化してきている。これまでも市の協力を得て活動してきているが、関心をもってもらえそうな方がいればご紹介いただきたい。
- ・自治体は河川レンジャーに対してどのように思っているのか。何か期待するものがあるのか。

→これだという答えはないのではないかと。河川レンジャー側から働きかけて自治体と共通認識をもてるよう努めるしかない。河川に関わる主体は水利組合、環境団体等々多様であり、河川レンジャーだけが突出した存在ではない。出張所単位で様々な関係者が情報を共有できる「河川会議」のような場があればよいと思う。

→環境と利水のバランスのとり方は重要だと考えており、工事の時などには水利組合等と話をしているが、定期的な会合はない。

- ・河川レンジャーはこれまでの活動の中で多くの淀川・芥川ファンをつくってきた。数年後などの河川工事の前段として住民意見を聴取すべき時やワークショップ設置等の際には、ぜひ河川レンジャーの活用を検討いただきたい。

- ・活動にあたって行政に相談したい時など、運営会議の自治体委員に関係他部局への窓口になってもらえないだろうか。
- すでに窓口として協力していただいているのではないかと。河川レンジャーの活動も広がってきているとはいえ、認知度はまだまだである。河川レンジャーから積極的に働きかけるべきだ。
- ・グループレンジャー制度には教育学部や、社会安全学部（関西大）等の大学生を巻き込んでいくとよいのではないかと。
- ・個々の河川レンジャーがグループレンジャー制度のために大学を訪問するなどすると混乱を招くことが考えられる。河川事務所などで一括して進めていくことがよいのではないかと。
- ・当運営会議でもワークショップへの取り組みをぜひ決定してほしい。
- ・国・自治体の来年度の工事予定を事前に説明いただく場を設けてほしい。
- 契約後の情報は年に数回事務局から河川レンジャーにお知らせしているが、今後、情報の鮮度を高める努力をしたい。
- 自治体でも管理河川をもたない場合、占用する立場であり、関わる事業があまりない。下水の部局が関わることも多いと考えられる。

#### ■平成 23 年度年間活動報告について

- ・大規模な学生団体とのかかわりが持てた。NPO法人化しており、世界的な活動を行っている団体である。学生たちが強い意志と行動力を持っていて驚かされた。
- 団体としても行政や河川レンジャーと協働することは新しい取り組みであったようだ。不慣れなこともあり、企画の固まるのが開催直前であったが、行政や河川レンジャーの支援が充分であったためうまく活動できたという認識を持ったようである。時間のない中で行政や河川レンジャーが柔軟に対応した結果だととらえている。学生等と協働するよいヒントになると感じた。

#### ■平成 24 年度活動計画について

＜中島河川レンジャー＞

- ・ジュニア河川レンジャーは課題が多いと思われる。
- 運営委員会の設置も含めてまだまだ検討中である。出張所、事務局とよく調整、検討する。
- ・津之江公園はもともと市民が自由に利用していた所だったのに、柵が設置され、住民が締め出されてしまった。ワークショップなどで市民の話を聴きながら公園のあり方を考えるべきではないかと。市の中でも関連部局が多岐にわたっており、関わり方が複雑だ。
- 市が占用している公園であり、自然の再生状況をモニタリングしている

聞いている。

→柵をめぐる攻防という意味で三島江に似ている。住民と関わるよい機会ではないか。

<杉本河川レンジャー>

・火の活動を禁じているエリアでBBQに関わる取り組みを行うのはいかなものか。飲食関連の取り組みも河川レンジャーでは認められない。

→BBQ可能な場所で行うなど、内容・場所については再検討する。

・実施内容に「正しいバーベキュー方法を習得してもらい講習会等」となっているが、BBQをやるということではなく、河川利用者のマナー向上のための活動をやっていくという意味でよいか。

→そういうことで検討していきたい。

<酒井河川レンジャー>

・河川愛護モニターと連携して活動をしたいと考えているので対応を検討いただきたい。

<中川ゆり子河川レンジャー>

・鳥飼下地区は公園整備に関連した検討が進行中である。活動に参加した高齢者・身障者等から意見聴取するとよいのではないか。

→アンケートを予定している。

<谷岡河川レンジャー>

・鶺鴒殿ではヨシ焼きを行わないと荒地になるだけである。住民の河川管理への継続的参加は、行政との連携、各方面からの支援なしには非常に難しい。

・枯れたヨシについて、協力スタッフと共に刈り倒しを試みているが非常に困難な作業である。今後も良い手段を検討していくので、ぜひ相談にのっていただきたい。

## ■新規河川レンジャー展開計画について

・各自治体には広報誌、ホームページ等への掲載でPRに協力いただく予定である。募集期間に複数回広報誌を発行される自治体については、再度の掲載が可能か検討いただきたい。

・新規河川レンジャー発掘のため、活動団体に働きかけを行っているが、会としての活動が整ってから考えたいという返事をもらっている。

以上

第 14 回高槻・山崎(大阪府域)出張所管内  
河川レンジャー運営会議 出席者名簿

分類	氏名	所属等	備考
地元見識者	かねこ るみこ 金子 留美子	NPO法人「こどもとむしの会」理事	
	ひがさ かずお 日笠 一夫	社団法人 高槻市観光協会 理事	運営会議代表者
	みなせ ただしげ 水無瀬 忠成	水無瀬神宮 宮司	
河川レンジャー	なかじま としあき 中島 敏明	高槻出張所管内河川レンジャー	
	よしかわ まさゆき 吉川 正之	高槻出張所管内河川レンジャー	
	さかい のぶゆき 酒井 信行	高槻出張所管内河川レンジャー	
	なかがわ ゆり子 中川 ゆり子	高槻出張所管内河川レンジャー	
	すぎもと しんいち 杉本 真一	高槻出張所管内河川レンジャー	
	たにおか すわこ 谷岡 寿和子	山崎出張所管内河川レンジャー	運営会議代表河川レンジャー
沿川自治体	みつはし さとる 三橋 覚	大阪府 茨木土木事務所 地域支援・企画課 地域支援・防災グループ長	
	にしむら かつみ 西村 克己	摂津市 都市整備部 公園みどり課 課長	
	うめもと さだお 梅本 定雄	高槻市 建設部 土木室 室長	代理:加藤氏
	もり かま たつや 森鎌 達也	島本町 都市環境部 環境整備課 主査	
国土交通省	ほそみ ことお 細見 寿	近畿地方整備局 淀川河川事務所 高槻出張所長	
	はたけやま みつひこ 畠山 光彦	近畿地方整備局 淀川河川事務所 山崎出張所長	

五十音別(地元見識者)敬称略